

製品名: STK32C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18394**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	STK32C
別名	STK32C; Serine/threonine-protein kinase 32C; PKE; YANK3
遺伝子 ID	282974.0
SwissProt ID	Q86UX6
免疫原	抗血清はヒト STK32C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 340-389

背景

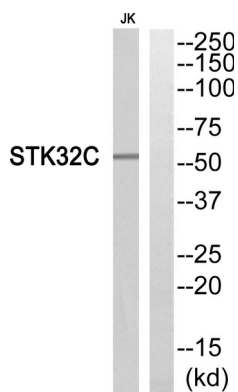
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このファミリーメンバーは脳内で高い発現レベルを示すことから、脳内で機能していると考えられています。思春期うつ病の病態が一致しない一卵

性双生児において、この遺伝子の DNA メチル化に差異が認められています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016 年 1 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質,補因子: マグネシウム,類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリー。類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含みます。 ,

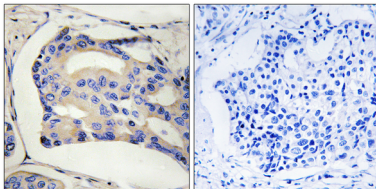
研究分野

シグナル伝達; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

画像データ



STK32C 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは STK32C ペプチドでブロッキングされている。



STK32C 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。右の写真は STK32C ペプチドでブロッキングした画像です。